

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】teacup_byGMOのサービス終了について

<思いやりのあるコミュニティ宣言>
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

内容



入力補助



画像・ファイル

 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

[\(詳細\)](#)

URL

[[ケータイで使う](#)] [[BBSティッカー](#)] [[書込み通知](#)] [[検索](#)]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [[その他](#)]

《 [前のページ](#)

[14](#)

[15](#)

[16](#)

[17](#)

[18](#)

[19](#)

[20](#)

[21](#)

[22](#)

[23](#)

《 [次のページ](#) 》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

新道の妙なトンネル？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 6月 7日(金)17時45分5秒

[返信・引用](#)

最近、新道を走っていて気付いたのですが、春光のあたりに春光台トンネルとは別に
もう一つ短いトンネルがありますよね。
あそこって上に山が無いとか只のボックスカルバートがあるだけなんです。
何のためにあんなものがあるのでしょうか？

あそこだけで10億に近い金がかかっていると思いますが。
色々写真を見ていると想像は着くんです、GoogleEarthで見ると上の方に削れたような部分が見えますので、ひょっとして完成後又は工事中に大規模な土砂崩れがあったのでしょうか？
それにしても、私であれば崩れるのを防ぐような法面防護処置をすると思うのですが、
法面はそのままに、道路をトンネルで覆ってしまったのでしょうかね。
そばに行ってみると公園になっているんですが、それこそ何もないんです。
何もないところにトンネルがあるという不思議な光景に見えました。



Re: 許されざる者 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)22時56分12秒

[返信・引用](#)

そうか、そもそも「許されざる者」というタイトルで気付かなきゃならなかったわけですね（笑）
どうりで見慣れぬ古そうな建物が写ってるはずですが。映画のセットだったんですね。
この映画、是非とも見に行かねばなりません。

同じ明治期の北海道を舞台に渡辺謙が出演した「北のゼロ年」という映画もありましたね。
もし私が監督ならば、旭川開村までをテーマにしたらもっと面白いストーリーができるのになあ、と思ったものです。
ま、これは私の偏見かもしれません。（^^ゞ

下の写真は、同じ愛別岳・安足間岳・永山岳を愛山溪近くの雲井ヶ原という所から写したものです。
愛山溪温泉から小一時間ほど登ったところですが、ピクニック感覚で行けますよ。



Re: 許されざる者 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)17時39分32秒

[返信・引用](#)

> [No. 755\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

- > 違った！愛別岳と安足間岳、永山岳だ(^_^;)
- > 上川からの撮影ですね？
- > あれだ、三国なんとかというシェフのレストランだ。

正解！

なかなか良い問題だったな。

そうです。上川町の大雪牧場の所の三国シェフのレストランをさらに奥に進むと、昨年「許されざる者」という渡辺兼主演の映画のロケ地として使用された場所があります。

近々取り壊されるそうで、今だけこのような不思議な景色が見られます。

映画の時代は明治初期の上川が舞台です。

[http://ja.wikipedia.org/wiki/許されざる者_\(2013年の映画\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/許されざる者_(2013年の映画))



単に特異日と言うだけなら天気予報でも雨の予報が出るはずですが。予報が出て降る雨ならば確かに不思議でも何でもありません。しかし昨晚私がテレビで見た天気予報では、民放、NHKとも旭川に雨のマークはありませんでした。過去にも雨の予報がなく、しかも前後好天続きなのに祭り日だけ降るケースが多々あり、その不可解さが戦没者の涙雨と呼ばれる所以です。確認のため当掲示板に書き込んだ過去の涙雨の記述を検索してみたら、やはり不可解な降り方をしている事が多いのは間違いありません。

今年は護国神社祭と音楽行進の日程が分かれてしまいましたね。先日、音楽行進の事務局となっている、旭川観光コンベンション協会の方からメールでご指摘をいただきました。当サイト「北海道護国神社例大祭慰霊音楽大行進」の記述中、音楽行進の日程が『6月第一土曜日に変更され・・・』云々とありましたが、現在は第一土曜日に限っておらず、毎年日程調整することになっているそうです。そう言われれば、今年は明後日8日の第二土曜日開催ですよ。お恥ずかしながら、指摘されて慌てて補足文を追加した次第です。みなさん、お間違えのないようお願いいたします。

涙雨のノルマ？は昨晚で果たしましたし、ここしばらくは好天が続きます。今年の音楽行進は、どうやら雨の心配なく見ることができそうです。(と願いたいです)

Re: 許されざる者 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)14時36分59秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

違った！愛別岳と安足間岳、永山岳だ(^_^;) 山頂がとんがってるの見て十勝岳と思い込んでしまいました。なんか周りの山が違うのと、写してる場所が白金近辺にしては見たことない景色だと思ったら・・・失敬！

上川からの撮影ですね？あれだ、三国なんとかというシェフのレストランだ。

Re: 許されざる者 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)12時35分24秒

[返信・引用](#)

> [No. 752\[元記事へ\]](#)

十勝岳ですね。まだ残雪のあるこの時期の姿が一番絵になりますね。

レストランの事は私は疎いので場所は知らないのですが、白金よりちょっと美瑛寄りの辺りかな？

Re: ナイター元年 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)12時27分50秒

[返信・引用](#)

> [No. 751\[元記事へ\]](#)

確かにあの照明塔は屋間見ると「まだ工事中？」と思えるほどです。この後、塗装するのかな？とも思ったんですが、結局そのままでした。

おっしゃる通り、あの金属質そのままの姿は武骨そのものですし、デザインも機能的に必要な最低限と言いますか、デザインはほとんど考慮してませんね、あれ。旭川空港のターミナルビルの真ん前にそびえ立つレーダー（SSR）も同じ事が言えますね。

結局、最低限の予算でデザイン的な事まで考慮する余裕がなかったんでしょうね。

許されざる者 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)10時50分7秒

[返信・引用](#)

さて昨日良いところに行ってきました。場所は、、、。山に詳しいmomongaさんなら、写真を見て山の角度や雰囲気から場所が想像できる

のではないのでしょうか？

ヒントは4月末にオープンした高級レストランの近くです。



Re: ナイター元年 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 6月 6日(木)10時39分25秒

[返信・引用](#)

> [No. 750\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> スタルヒン球場での初ナイター見てまいりました。
ナイター綺麗ですねえ。
私の事務所から球場が煌々と照らされているのが見えましたよ。
ナイターは経済効果もあるでしょうし、もっと増やして欲しいですね。

別な観点から一つ注文が、
ナイターの照明設備ですが、「どうしてこんなにも不細工というか、デザインのか
けらも無いようなただのポールの先にライトを並べました的な構造なんですよ」
スタルヒン球場自体のデザインはかなり良いと思うんですけどね。

旭川って彫刻の街じゃないんですか？
デザインに配慮しない構造物は認めないくらいの条例があっても良いと思うんだけ
どなあ。
だからちぐはぐな街並みになっちゃう。
武骨な変圧器がぶら下がった電柱が町中に林立する国ですから、こんなものですか
ね。

ナイター元年 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 6月 3日(月)16時30分46秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

スタルヒン球場での初ナイター見てまいりました。
いいですねえー、ちょっと寒かったけど。

屋外球場でのナイター観戦は何十年振りでしょうか。
たしか東京ドームができる前の後樂園球場へ行ったのが最後だと記憶してます。
ですから相当昔になりますネ。

初めてのドーム観戦は東京ドームでしたが、バカでかい体育館で野球をやってる印
象でした。
音は反響するしグラウンドは全面人工芝、もちろん風も雨も無く、あまりに環境が整
い過ぎて違和感を覚えたものです。
その後、大阪ドーム、札幌ドームと行ってますが、形は違えど基本どこも代わり映
えしません。
最近でこそ慣れてしまってあまり気にしなくなりましたが、
久々に屋外ナイターを観戦して、あらためてその良さを実感しました。
やっぱり野球は屋外球場のほうが私は好きです。

本来ならナイターなどではなく、お天道様の下でやるべきだとも思いますが、
プロ野球は商売として成り立たす必要がありますから、こればかりはやむを得な

いでしょう。
それに、屋外ナイターはドーム球場にはない独特の雰囲気があります。
空と周辺の景色が真っ暗になる中、カクテル光線を浴びて球場だけがポツカリと浮かび上がる・・・
選手たちはスポットライトの中でプレイしてる印象を強く受けます。
全周囲から照明を当てるので日中に比べ球や選手の動きが非常に見やすく、天然芝もとても綺麗です。
これらは日が暮れて周囲が暗くなればなるほど益々映えてきます。
花火などの演出も屋外ならではのものです。

確かに昨日のように雨がパラついたり、寒いくらいに気温が下がってしまうようなリスクはありますが、
天気の問題さえなければ絶対的に屋外球場がお勧めです。

昨日はほぼ満席の24000人以上が観戦しました。
スタルヒン球場もここまで人が入ると付帯設備が完全にキャパ不足になります。
トイレが足りなかったり、各出入口を結ぶコンコースが狭く、売店付近は人がごった返しています。
また、今となっては両翼95メートルはやはり狭過ぎで、せめて外野席を嵩上げてフェンスを高くしないとだめでしょう。
収容人数はこれ以上にする必要はあまりないと思いますが、
今後はこの球場の”質”を良くすべく改修を望むものです。





Re: 北海道経済読みました。 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 5月 9日(木)11時10分43秒

[返信・引用](#)

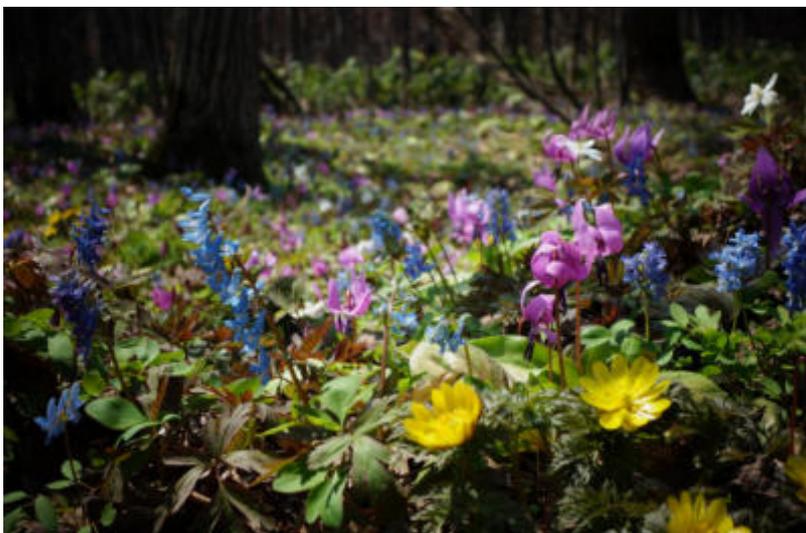
> [No. 748\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 連休ボケでお返事遅くなりました。
> 今年のGWは最悪な天気でしたネ。
> 突峭山のカタクリでさえ連休中に全面開花まで至らなかったようです。
昨日の昼に天気が良かったので男山に行ってきました。
全体で言えばまだ3分咲きといったところでしょうか。
でも部分的にたくさん開花している場所もあるので、それなりに楽しめはしました
けれど。
何枚か写真におさめてきました。

> 急ぎませんのでぜひお願いいたします。m(__)m
ではご連絡いたします。





Re: 北海道経済読みました。 投稿者: [momonga](#)✉ 投稿日: 2013年 5月 8日(水)11時20分4秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

連休ボケでお返事遅くなりました。
今年のGWは最悪な天気でしたネ。
突哨山のカタクリでさえ連休中に全面開花まで至らなかったようです。

忠別川の橋は、土橋とはいえ個人での架橋は無理でしょうから、囚人の手によって架けられたんでしょうね。
明治22年から他の市街路に先立って北見道路（一条通）が着工されてますんで、たぶんその一環で架けられたんだと思います。

ただ、忠別川本流をぎりぎりで跨いでますんで、ちょっとでも増水したらアウト。おそらく、運が良くても翌年春の融雪期には流されていたのではないのでしょうか。

この土橋は、最初から北見道路工事のための仮橋だった気がします。工事開始当初は、道路工事がある程度先へ進むまでの間、監獄舎のあった駅通側との間を数多くの囚人を渡さなきゃならなかったからです。監獄舎（とは言ってもタコ部屋）はその後、道路工事の進展に合わせ、第三市街地を経て永山へと移っています。市街地計画でも元々この場所に橋を架ける計画ではありませんしね。

> 基になる地図はそのままでは容量が巨大でアップ出来ないのですが基になる地図のデータはお渡し出来ますよ。

急ぎませんのでぜひお願いいたします。m()m

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 4月30日(火)23時43分27秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

momongaさんへ

> 薄く書き入れられているメモというか、下書きがすごく面白い！
 > 何と！何かの筆記計算をした跡まで残ってるではありませんか（笑）
 そうなんです。
 薄い下書きのような書き込みに色々な情報が含まれている気がしています。
 例えば「つばさ」さんのサイトにも書いたのですが、忠別川にかかる橋が明治23年にあったのか無かったのかというような歴史的事実の検証にも役立ちそうです。
 薄い下書きには「明治22年土橋 明治23年丸木舟」と書かれています。
 結果的に明治23年の地図では忠別川には渡し船になっていますが、明治22年には土橋があった事実を、あの草稿となった地図と薄い書き込みが示しています。
 他にもたくさん書き込みがあるのですが、印刷して読む為には相当に大きく印刷しなければ読めません。
 基になる地図はそのままでは容量が巨大でアップ出来ないのですが基になる地図のデータはお渡し出来ますよ。
 数百MBあるけどPhotoshopのデータになっています。
 これを拡大して見ると薄書きも読めます。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 4月28日(日)12時38分25秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

以前のレスで添付して下さった全体図では薄い書き込みがほとんどわからなかったのですが、
 改めてこの拡大図をみると明治23年の状況を書き込んだものであることがよくわかりますね。
 薄く書き入れられているメモというか、下書きがすごく面白い！
 何と！何かの筆記計算をした跡まで残ってるではありませんか（笑）
 足し算とそれに割り算もやってるようですが、何だろう？尺貫法とメートル法の換算かな？
 それとも一定の道路の長さの中に何区画取れるか、といったような計算かな？
 このような計算までしてるという事は、正確な実測・測量などが目的だったんでしょうね。

駅舎と書かれている駅通第一美英舎の中を指して薄く「測候所〇〇」と書かれてますが、
 明治22年に開設された駅通と測候所が同居した期間は短くて、翌23年の7月には測候所は近くに移転しています。
 測候所の後の文字がちょっと読めないんですが、まだ同居時代を表しているとすれば7月以前、つまり開村告示前の書き込みですね。
 現地で下書きを書いた時はまだ開村告示前だったが、札幌に戻って濃く上書きした時点では開村告示されていた・・・
 この時「明治二十年旭川」の文字も書き入れられた、といったところでしょうかね。

この地図に翌年以降も続きを書き入れるつもりだったという事でしょうか。

以前添付して下さった2枚の内、2番目の明治二十三年旭川地図というのは明らかに都市計画図ですよ。
それも明治22年までに計画された上川第一から第三までの市街予定地と完全に一致しています。

(現在の神居・忠和・中心街)

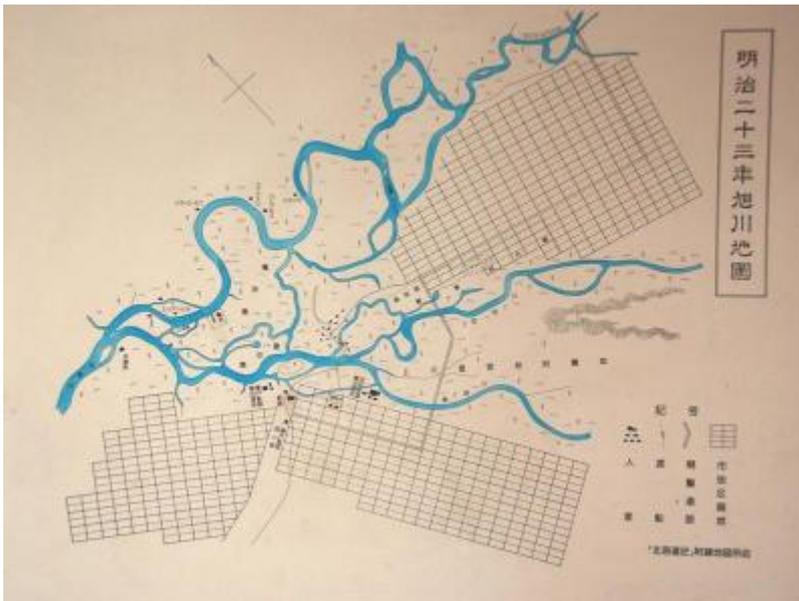
記号として「市街区画地」となっていますので、必ずしも道路を表すものではなく、払い下げ予定区画を表してる気がします。

(まあイコールのようなものですが)

当時続々と移住民が入り込み始め、大半は忠別番外地(曙付近)で集落を形成し土地の払い下げを待ちましたが、一部にはこの市街予定地に勝手に移住を決め込む輩もいたそうです。

この2枚の地図の関連性、前後関係は私もわかりませんが、ベースになっている地図はほぼ一致しているように思えます。いずれにしても同時期を描いているわけですし、当時上川に入り込んだ役人も限られているでしょうから、何らかの関連性はあるのでしょうか。

ちなみに下図は神居の上川農作試験所(駅通第一美英舎)跡に展示されている地図ですが、先の2枚目の地図の写しですよ。



Re: 謎が解けました 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月28日(日)12時01分9秒

[返信・引用](#)

> [No. 743\[元記事へ\]](#)

kawakaminohitoさんへ

> 結局、旭川の意味は「皇国軍を有する北京」を意味すると思われます。また、旭川の名がある限り永山武四郎氏と岩村通俊氏は永遠に此処にいると思います。

実にいい言葉ですね。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 4月24日(水)11時23分52秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

明治二十年旭川地図と書かれたあの地図は道立図書館所蔵の物で、その書誌には次のように書かれていました。

無彩色で一枚物の旭川図である。石狩川、忠別川、美瑛川に囲まれた一帯の地域、

すなわち現在の旭川周辺を描いた地図である。まだ市街をなしていない原野の中に「鉄道見込用地・工場見込」などと記され、渡シ場・駅舎・官舎・農事試験場・桑苗畑の文字もある。またアイヌ人名も散見する。多くのペン、鉛筆によるメモも書かれており草稿図であろう。

<解説：高木 崇世芝 氏>

これを見て、改めて地図を見て今私は次のように思っています。つまりこれは明治二十三年旭川地図という公的な地図を作るための下書き、資料、草稿であろうと。

明治二十三年旭川地図には、「此図は北海道庁地図、大谷岩太郎地図及び豊倉〇吾、松尾留次郎の談話により調製す」とあります。

そして二枚の地図を見比べると、二十年の地図にたくさんの薄い書き込みが見られるんです。その書き込みが二十三年の地図に見事に反映されているんですよ。つまり二十年の地図は二十三年の地図の製作段階の草稿である、そしてその元図は「大谷岩太郎地図」であると思います。

二十三年の地図は北海道庁地図、大谷岩太郎地図の2枚を元にと書いてありますが、道庁の地図なら周囲等に絶対に何らかの書き込みがあるはずですが、それが無いという事は、これは大谷岩太郎図であると。

明治二十年の空白はつまり、製作途中で古い地図に書き込んでいた最中ですので、何年と断定できないあやふやな物です。なのであえて空白としているのだと想像します。

「明治二十三年旭川地図」というのが発行された年数は不明となっていますが、旭川村開村後、二十二年の市街区割を反映させた地図を作る事になって、大谷岩太郎地図上にまさに「豊倉〇吾、松尾留次郎の談話により調製」している段階の地図なのだと思われています。

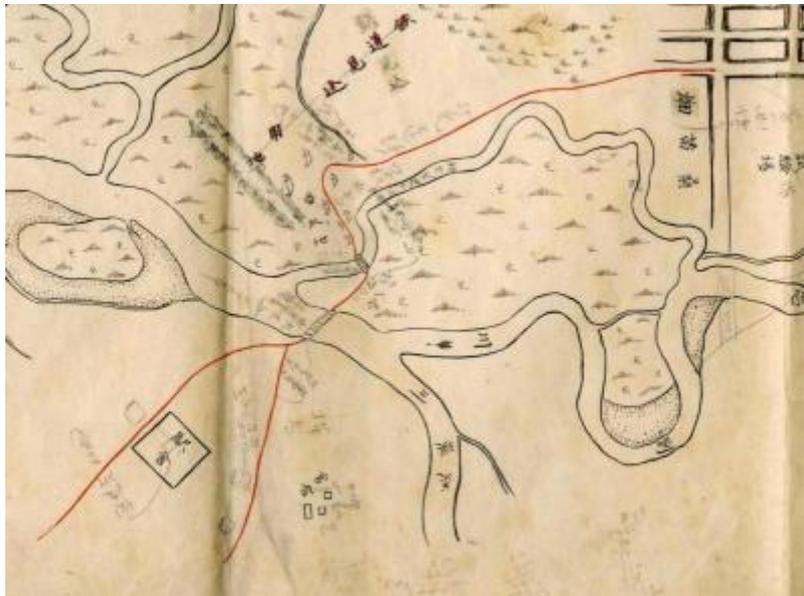
まあ、年数的には明治23年9月の直後でしょうねえ。

P S .

市立図書館の真鳥さん、この掲示板見ているそうですよ。

北海道経済のmomongaさんの記事も見たようです。

この地図を渡して調べてもらっていますが、解説の高木崇世芝 氏とは面識があるみたいです。



Re: 謎が解けました 投稿者: kawakaminohito 投稿日: 2013年 4月22日(月)16時35分24秒

[返信・引用](#)

> [No. 742\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

皇国軍の住む街（都）、つづき

アイヌの人たちは忠別（チウ、ペツ）を波立つ川という意味だと言っています。旭が昇る川という意味ではないと言っています。おそらく数千年前から「波立ち川」という名で呼んでいたのでしょう。急流だからとか、秋には大量の鮭が登って来て波を立てるからだと言われています。

岩村通俊氏も永山武四郎氏も忠別の名称も意味もアイヌ人から聞いて、知っていた

はずです。秋には忠別川に大量の鮭が登って来る事も聞いていたはずですが、意味を間違えるはずはありません。現在も本家本元のアイヌ民族の方が言うから忠別川の意味は「波立ち川」です。

すなわち、軍人を兼任する永山北海道長官は忠節（天皇と国家に従う）を重んじ、忠別と言う言葉を避け、忠（チウ）を少し発音を変えると日、明かりという意味に成ることや、近文山から見た朝日から旭日旗をイメージしたものと思われ、忠（チウ）を旭とし、別（ペツ）をアイヌ語の川、流域、人間の住める場所から旭川という名称を付けたと思われま

す。また、忠別に旭川という名を付けるに際し、永山北海道長官は、前岩村通俊北海道長官に対して「旭」は皇国軍を意味し、「川」は岩村通俊前道長官が押し進めてきた大宮殿のある京（都）を意味する事を伝えて岩村通俊氏も了承したはず。結局、旭川の意味は「皇国軍を有する北京」を意味すると思われま

す。また、旭川の名がある限り永山武四郎氏と岩村通俊氏は永遠に此処にいると思います。

Re: 謎が解けました 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月20日(土)19時27分37秒

[返信・引用](#)

kawakaminohitoさんへ

そうでしたか、最初に「軍都の面影」をご覧になったわけですね。当サイトは一応「上川離宮計画」「第七師団」「旭川の名の謎」までは順に読まれる事をお勧めしますが、それ以外のコンテンツは特に順番は関係ありません。「夢と希望と力」とまで言われるとたいへん身に余る光栄です。今後とも何か疑問・ご提案があればお知らせください。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月20日(土)19時09分50秒

[返信・引用](#)

かんじさん、郷土史家さんからも否定されちゃいましたか ^^;

やっぱりあの地図、ベースになる地図があつてそれに工事進捗を書き込んだものじゃないでしょうか。書き入れられている街路がちょうど明治23年の着工部分とほぼ一致してますんで。進捗に応じて街路を書き加えて行き、年度末などの時点でその年の施工実績として〇年を書き入れる・・・どうもそんな気がします。

私も旭川の名が永山武四郎の発案であり命名であるという論を張っている以上、あの地図が明治20年のものであるということ認めるわけには行かないんすよ（笑）

と言いますのは先のレスでも言いました通り、私は永山武四郎が旭川の名を想いついたのは長官になって屯田兵村設置が決まった後の明治21年から22年の事だと考えています。

そしてこの名は、しばらくは公にできず永山武四郎と一部側近の胸の内に収めていたものと思われま

す。これをようやく”リーク”できる状況になったのが、離宮設置が閣議決定され、アイヌ語意識の”裏工作”を画策した明治23年初頭になってからの事

です。そんなこんなで、明治20年の地図に旭川の名が出てくるはずがないのです。

すみません。m()m

忠別に設計された3つの市街計画も、計画・設計時点はもちろん、工事着手される時点まで「上川市街予定地」でした。

明治23年時点で既に未許可も含め忠別太に移住してきた住民も相当数います。

行政的にはずっとこの名で進められていた計画が、いざ開村告知されると「旭川」という村名に化けた・・・

旭川という名が「突如現れた」と言われる所以ですね。

そしてこの村名が現れたタイミングは、まさに工事の始まっていた永山兵村と翌24年に着工される旭川兵村に合わせた感があります。

つまりですね、旭川の市街地計画と村名の命名は、まったく別々の意図をもって進められたという事に他なりません。

市街地計画は岩村通俊の命で北海道庁という行政機関が進めてましたし、屯田兵村建設は軍の仕事です。

建設開始当時の親分はどちらも永山武四郎なわけですから、どうにでもなると言え
ばどうにでもなったんでしょが、
旭川の命名に関しては屯田兵村を念頭に置いたと考えるのが自然でしょうね。
(最初に着工した永山兵村は明治天皇のお言葉通りとした)

Re: 謎が解けました 投稿者:kawakaminohito 投稿日:2013年 4月18日(木)03時04分54秒

[返信・引用](#)

> [No. 729\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

皆さんはじめまして

私は、「軍都」が旭川だけでなく、ほかの都市にもあるのかなあと思い検索した
所、全国には何箇所もありその中で「軍都の面影」のサイト知り、そこばかり見て
おりました。しかし、最近「何もない街」がホームページと気が付き拝見させてい
ただきました。とても素晴らしく私にとっては夢と希望と力をいただきました。私
はmomongaさんの説を全面的に支持します。

旭川という名が朝日が昇る川、金星橋、金星町が夜空に明るく輝く星、ただ綺麗な
名前と見るだけでなく、旭日旗とアイヌ語(川を住める地域とすれば)から皇国軍の
住む街、金星橋、金星町は帽子や肩に金の星が付いた兵隊が渡って中島遊郭に行く
所から付いた名であることも知るべきだと思ふ。或いは春光、花咲、住吉はなんだ
ったのか。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者:かんじ 投稿日:2013年 4月17日(水)22時38分54秒

[返信・引用](#)

> [No. 738\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 従って、問題の地図が”計画図”であったとしても、「明治20年旭川」はちよつ
と早過ぎで、

> いくら早くても21年のはず、ということになります。

確かに当時の状況を考えると20年では早すぎますかね。

ただ、旭川という名称が明治23年の開村からいきなり出てくるというのは逆に不
自然な気がしますね。

永山武四郎が命名したとしても、永山自身が考えたのかどうかは解らないし、あく
までも今の常識から考えると、

あれだけ偉い方が物事を決定する時には、事前の候補や知識の中から最終決定する
方が自然だと思います。

なので公式文書にはなくとも旭川という名称はそれ以前に出現していた方が自然だ
と思うのです。

そう言う意味であの怪しげな図面が明治23年以前のもので、その表題に旭川とい
う文字が使われていても、おかしいとは思わなかったんですよ。

市街地設計が明治22年ならそれ以前に基になる地図はあったはずですよ、その
地図の上にマス目を描いて検討をしたのだと思いますが、あの怪しげな地図はまさ
にその検討を思わせるような地図に思えたんです。

もう一つ、疑問があるのですが旭川村が開村した時は永山、神居とともに大きな区
域としての3村を示しただけですよ。

だからこそ、その後忠別ではなく旭川兵村こそが旭川だと言う行動が起こった訳で
すが、明治23年の公的な旭川地図には旭川兵村は含まれていません。

つまり現地では忠別市街と旭川兵村という住み分けをしていたのに、道庁の計画部
門では旭川と言えば忠別市街として都市計画を進めていたのだと思います。

村の名前をどうするかという段階ではなく、旭川と言えば忠別として都市計画が進
んでいた。

忠別という名前の都市計画図でもあるのかな？

やっぱり開村に合わせて旭川という命名を考えたというよりは、忠別地区を旭川と
して開発計画が既に進んでいたと考えた方が自然に思えるんですよ。

momongaさんとは知識レベルが違うので、大きな勘違いをしているかもしれません
がそこは勘弁してください(^_^;

今日、北海道経済の記事のコピーを持って郷土史家の高田さんのところに行ってき
ました。

高田さんも旭川はアイヌ語の意識ではないという説を完全に支持しています。

ただ、高田さんもあの地図は20年に描かれたものとは思えないと言っていました。
た。

あああつ。

[返信・引用](#)

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月17日(水)18時48分32秒

かんじさんへ

時任静一による最初の市街地設計が成されたのは明治22年の事です。
これは岩村通俊長官の指示によるものと考えられますから、おっしゃる通り明治20年とか21年に調査に着手していてもおかしくはないですよ。

ただ、旭川の名が生まれた（想い浮かんだ）のは、明治21から22年にかけてではないかと私は考えています。
明治20年の長官はまだ岩村通俊で、しかもこの時期永山武四郎は1年間に及ぶロシアなどの欧米視察に出かけています。
この視察から帰国して、翌21年に長官職を兼任することになる訳ですが、屯田兵村の設置が決まったのもこの21年で、9月には明治天皇より永山村が命名されています。
この時点では永山武四郎もまだ村名を思案中であったので、彼の心中で旭川の名が確定したのは明治22年が有力と思われる。

従って、問題の地図が”計画図”であったとしても、「明治20年旭川」はちょっと早過ぎで、いくら早くても21年のはず、ということになります。
やはり明治二十・・・の後ろには何らかの数字が入る予定だったのではないでしょうかね。

それにしても、昔の人はずいぶんと謎めいた事をやってくれますよね（笑）
やはり、コピーのない時代の一種の知恵だったのかな。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 4月17日(水)00時08分59秒

[返信・引用](#)

> [No. 736\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> この地図が同じ23年に描かれたとすれば、何月の時点を描いて旭川という名を使ったのか非常に興味深いところです。
そうなんです。明治23年に既に市街化計画が実行され区画整理が始まっているとすれば、計画はそのかなり前に始まっています。
職業的経験上、数年前から計画は始まっていると考えるのが常識なんです。
明治20年という怪しげな図面が計画の最初の地図だと考えると23年の開村と市街化の工事も何となくつじつまが合う感じですね。
明治20年頃には計画が進んでいて、その図面に既に旭川という文字が使われている方が私的にはスッキリです。
だからなおさら永山、神居、旭川、鷹栖、神楽などの地名はアイヌ語云々ではなく、近代的な都市計画を背景として考え抜かれて名称を決めたような気がします。
先の吉田初三郎の文にもありますが、旭川という名前は
> 無味で煩雑な北海道の地名中、是は又抜群に優美壮大な好名称ということが出来よう。
とうたわれる様にそれ迄のアイヌ語由来の地名とは違った、明確な意味を持った地名であると言われているのではないかと思っただけです。

Re: 北海道経済読みました。 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月16日(火)22時57分21秒

[返信・引用](#)

かんじさん、上の地図は珍しい地図ですね、私も初めて見ました。
確かに明治二十・・・の後に空白があるのは不思議ですが、これ、後で年度ごとに地図を書き足して行く意図があつてこうしたような気がします。

下の地図は上川第一から第三の市街予定図で、当時の時任静一技師が区画設計したあくまで計画図ですよ。
それに対して上の手書き地図は、おそらく工事進捗図のようなものではないかと想像します。
たぶん、明治23年ではないかと思えます。

と言うのは、描かれている街路は正確さに欠けるものの、間違いなく現在の1条~2条から1~4丁目辺り・・・

史料によると、明治23年に5650m、25年に2657m、この付近の市街道路を整備したとあります。

一方、この地図には現在の忠別橋（当時神楽橋）がまだ描かれていません。橋が架けられたのは明治24年ですから、この地図はおそらく明治23年時点の状況を描いたものと思われます。

ただし、そうだとでも微妙なところで、開村が告知されて、旭川の名が初めて公文書に登場したのは同じ明治23年の9月になってからの事。

この地図が同じ23年に描かれたとすれば、何月の時点を描いて旭川という名を使ったのか非常に興味深いところです。

また、これを描いた人物がいったい誰なのかも重要な要素だと思います。

明治23年は、離宮建設本決まりを受けた本格調査、永山屯田の着工、永田方正の地名調査、そして旭川開村と、上川開発が急速に動き始めた年だけに、私も興味津々です。

> カールJPさん 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月16日(火)21時02分4秒

[返信・引用](#)

「北海道経済」は札幌でいうなら「財界さっぽろ」に近い月刊誌かと思います。ただ、実際には旭川を中心とした地域の話が主体で、販売地域も道北一円かと思えます。

札幌で扱っている書店があるかどうかは私もわかりません。すみません。m()m

北海道経済読みました。 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 4月16日(火)19時31分17秒

[返信・引用](#)

momongaさん、北海道経済読みました。思ったよりもずっと大きな記事で見出しにも大きく出ているではないですか、内容もmomongaさんの主張がほぼ網羅されていますね。改めて素晴らしいです。

今後の更なる考証の参考になるかどうか分かりませんが私の見つけた資料を示します。

最初は私の大好きな吉田初三郎が昭和5年に旭川の鳥瞰図に添えて書いたものです。

「旭川」という文字は土語「チュツプペツ」（忠別）を意識したものであるという。

即ち東方旭の出るところの意義で、東海日出づる国日本に於いても、殊に朝陽燦として輝き、旭日昇天の勢いを能く其の姿勢に具現した北海道屈指、日本有数の名都と称し得べく、無味で煩雑な北海道の地名中、是は又抜群に優美壮大な好名称ということが出来よう。

昭和5年のこの時点で、旭川がアイヌ語の意識であるということは、広く知れ渡っていたようです。

しかし、同時に旭川の名前が「旭日昇天の勢いを能く其の姿勢に具現した」名前ということで、誠に当時の日本にふさわしい名であることを誉めたたえてるようです。

今私たちが旭川の名から感じるよりも、当時はずっと重みのある輝ける栄光に満ちた名前だったようですね。

もう一つ重大なものがあります。

私の手元に明治20年旭川地図というものがあります。江別の道立図書館の資料なのですが、皆さん既知のものなのかな。

地図には「明治二十年旭川地図」と書いてあります。

道立図書館の資料でも発行年が1889年

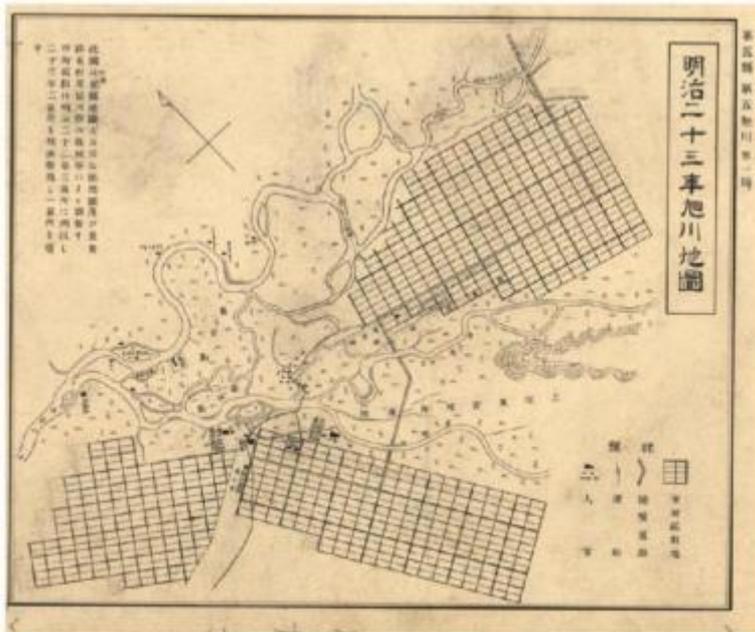
常識的には明治20年には旭川という名称は登場していないのですよね。

ただ変な事に「明治二十年旭川地図」となっており、二十の後に空白があるので

す。でも後から消した様子は無く最初から間が空いているのですよね。

私の素人目には地図の内容はまさに、明治20年から23年ころの旭川の様子に近い気がします。

でもこの地図は、ベースとなる地図に後から手を加えているようなんですよね。単なる推測ですが、これは旭川の都市計画図のようなもので、何年頃にこうしたいというような長期計画を立てるための地図だったのでは、なんて想像をしました。なので明治二十年旭川地図として空白に年数を入れて、その時期の計画を書き込むための地図だったのかも知れません。と古代ロマンが叫んでおります(^o^)
でも、明治23年の開村時には既にかなり正確な地図が作成され発行されているところから、旭川という地名はかなり前から決定していた可能性があります。時代考証のキチンとできる学者なら、この地図が何年に描かれたものなのかわかるのではないのでしょうか。
その結果、この地図が本当に明治20年に描かれたのなら、旭川という文字があるこの地図は発見ですよ。
なんてね。どうですか。



(無題) 投稿者: [カールJP](#) 投稿日: 2013年 4月15日(月)17時47分57秒

[返信・引用](#)

momongaさん、こんばんは。

北海道経済での掲載おめでとうございます！
わたくし勉強不足で未だ読んだ事の無い雑誌だったので、
ネットで検索してみると‘旭川で発行している月刊誌’とありましたが、
札幌の書店でも購入は可能なんではないでしょうか？
是非、読んでみたいと思います。

<http://blog.livedoor.jp/miseburo/>

[返信・引用](#)

Re: 「北海道経済」に掲載されました 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 4月15日(月)13時18分
39秒

> [No. 731\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 当サイトコンテンツ「旭川の名の謎」が、今日発売の北海道経済5月号に採り上げられました。
おめでとうございます！
という表現が良いのかはわかりませんが、momongaさんの考察が広く世間に伝わるのは知人として嬉しい思いです。
北海道経済は毎月買っているのので、今月も早速買って来ますね。

ちなみに、昨年北海道経済に連載されていた「名橋、旭橋秘話」の最終回（10月15日発売）に記述されている、旭日章の額の材質、色、処分の話、初代旭橋の馬車鉄道の話など、内容の半分ほどは私が調べ上げ関根会長に伝えたものです。
この掲示板でも皆さんと一緒に考えてくださったものでしたね。
報告を忘れていました。

「北海道経済」に掲載されました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 4月14日(日)20時54分 [返信](#)・[引用](#) [編集済](#)
55秒

当サイトコンテンツ「旭川の名の謎」が、今日発売の北海道経済5月号に採り上げられました。
実は1ヶ月ほど前から取材を受けておりまして、今回の5月号に掲載の運びとなりました。

旭川の地名由来については、当サイトの中でも特に私がこだわっているコンテンツです。
今回掲載された記事は、サイト中の内容を記者さんの目で抜粋し編集されたものに私のコメントを付け加えたものですが、さすがはプロの編集で、私の意図が簡潔ながらも必要最低限カバーされており、納得の行くものです。
私の駄文を要領良くまとめてくださった北海道経済誌に感謝の意を表します。

今回の取材に至る過程、あるいは以前から感じている事なのですが、多少でも郷土史に興味を持ち、旭川の地名由来について興味を持たれている方々の中には、旭川の名がアイヌ語由来、という事に少なからず疑問を持たれてる方がけっこう多いという事です。
是非ともこれを機会にこの件が大いに盛り上がり行く事を期待しています。

私のサイトを知っているのはごくごく一部の方のみですし、もちろん、ネットそのものをやらない方もおられます。
今回、初めてネット以外の地元メディアで紹介されたという事で、一人でも多くの市民が、自分の住むマチの名の由来について関心を持たれる事を願っています。

Re: **ロータリーの謎** 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 4月12日(金)16時31分53秒

[返信](#)・[引用](#)

> [No. 727\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 正確さという意味では明らかにおかしいですね。
> 道路標識ですから、特定の幹線道路を強調表示するのはよくある事ですが、
> 描かれている接続道路が1本足りないというのはやや問題ありかな、と思います。
> 事前に地図を見て目的道路を頭に入れていたドライバーもいるわけで、
> 実態と標識があまり大きく食い違っていると戸惑いますよね。

ちょっと解かったことですが、国道40号にかかっているロータリーの道路標識は比較的正確に描かれているのに、なんで9条の標識はおかしいのか、ってことです。

40号線の標識は国道の管理者である開発局が設置しており、それに対して9条通りの標識は旭川市が管理者で設置しているということですね。

なんかなあ。
はずかしいなあ。

Re: 謎が解けました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 4月12日(金)14時08分42秒

[返信・引用](#)

kawakaminohitoさん、はじめまして。

当サイトがちょっとでもお役に立てたならたいへん嬉しく思います。
地名については私が最もこだわっている分野でして、今後とも勉強して行きたいと考えています。
ぜひまた遊びに来てください。

謎が解けました 投稿者: [kawakaminohito](#) 投稿日: 2013年 4月12日(金)02時44分22秒

[返信・引用](#)

謎が解けました。ありがとうございます。
旭川、忠和、神居、神楽、神楽岡の名称（由来がアイヌ語にしてはおかしいと思っていました）その他。
そして、旭川の市街地は明治政府（岩村通俊、永山武四郎）によって造られたこと。天皇の上川離宮予定地の膨大だった理由。当初、西の京の京都、東の京の東京、南の京の奈良に続いて北の京の旭川（上川）として天皇の離宮、北海道庁、軍隊をおいて北海道の中心地にしようと計画していた事。

Re: ロータリーの謎 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 4月 7日(日)15時01分50秒

[返信・引用](#)

私は9条通り側からロータリーへ入るとい事がめったにないのでこの標識は知りませんでした。
正確さという意味では明らかにおかしいですよ。
道路標識ですから、特定の幹線道路を強調表示するのはよくある事ですが、描かれている接続道路が1本足りないというのはやや問題ありかな、と思います。
事前に地図を見て目的道路を頭に入れていたドライバーもいるわけで、実態と標識があまり大きく食い違っていると戸惑いますよね。

この標識が意図しているのは、明らかに逆周り防止にあると思います。
右折してロータリーに入るのを防ぐため、あえて周回路の右側部分を描かなかったのでしょね。
接続道路の数だけは合わせておくべきだと思います。

ただ、逆周りしようとするクルマって果たしてどれだけいるんでしょう？
今さら標識をこのような形に描かなきゃならないほど増えているのかな？
確かに9条通りは動物園通りから直通という事もあり、事情に疎い観光客が増えた事は考えられますけど・・・

ロータリーの謎 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 4月 5日(金)14時00分54秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

最近9条通りを走ってておかしい事に気が付きました。
9条通りをロータリーに向かって走ってゆくと、ロータリーを示す道路標識が現れるのですが、
どうも最近（いつかは不明）この標識が手直しをされています。
それが添付の写真なんですけど、なんか変ですよ。
ロータリーが円に繋がっていないし、道路が一本足りないんです。
右へ回らないための配慮かとも思いましたが、道路が足りないのは変ですよ。
足りないのではなく修正の痕を見ると消されたみたいなんですけど、右上に実際に9条通りから見えるはずの写真を合成してみましたけど。
これと比べても解かるとおり、水道局に向かう通りが無いんです。
道が足りないし絵のバランスもおかしい、旭橋へ向かう40号線と買物公園へ向かう斜めの通りは、まっすぐに直線で通っているはずですし、ロータリーへの接続もおかしい絵ですよ。

なんでこんな風に標識を変更したのか？不思議です、、、、。
 どなたかわかりますかあ。
 ちなみに4条の方からロータリーに向かう40号線にかかっている標識は、
 ロータリーが円に描かれているし、接続道も6本で正常に描かれています。



ナイターが楽しみです 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 4月 2日(火)22時28分28秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

スタルヒン球場のナイター照明施設がほぼ出来上がりましたね。
 さすがプロ野球仕様となると照明塔の高さが違います。

思えば札幌ドームができるまで、北海道でナイターの試合ができる球場って無かったんですね。
 夏こそ涼しい北海道で試合をやればいいと思うのですが、円山球場ですら未だに照明施設がない。
 屋外球場として北海道で初となったのがスタルヒン球場であるのはちょっと誇らしい気がします。

この照明施設、多額の税金が投じられただけに例によって賛否両論があります。
 確かにこれだけの施設を整えながら、プロ野球の開催数が従来と変わらないのであれば過剰投資と言えるかもしれません。
 ただ、ナイターが開催できるようになった事により、今後は開催数が増えるのは大いに期待できますし、
 野球以外のイベント等に使用される事も充分可能となります。
 そうなると地元に着るメリットが増大する事を忘れてはなりません。
 なぜなら、デイゲームなら日帰りするところが、ナイターとなれば宿泊する客が大幅に増えるからです。
 最近のファイターズ人気を考えると、旭川以外の道内外からのファンが千人単位で集まるでしょうし、

まして試合終了時間が不明なわけですから、道内であっても宿泊を決め込む客が相当数いることは間違いないところです。

実は私も6月2日のチケットを予約しました。
3月早々にネット予約したのですが、既に1塁側内野席の連席は取れませんでした。
今年は4試合の開催のみですが、ファイターズの準ホーム球場として今後定着する事を願っています。



Re: 中央小学校で思い出しました 投稿者: momonga  投稿日: 2013年 3月21日(木)21時11分17秒

[返信・引用](#)

かんじさん、相変わらず素早い現場検証ですネ。

私の記憶が正しければ、あの校舎は既に使われてましたよ。
ただ、新築してさほど年数が経っていなかったのは確かで、一步間違えれば全くの無駄になりかねない新校舎だったと思うのです。

と言うのは、当時の五十嵐広三市長が後年のテレビインタビューで語っていた言葉を覚えているのですが、
文化会館の建設に当たっては、まず当時の刑務所（今の知新小の場所にあった）の移転運動から始めたと言うのです。
刑務所を移転した上で、その跡地に中央小と大成小の統合校舎を建設し、
そこでようやく空いた中央小の跡地に文化会館を建設する事ができたと・・・

つまり、文化会館の建設構想がかなり早くからあり、中央小・大成小の統合計画が抱き合わせで進められていたわけで、
文化会館の一部として使われた校舎は、そんな計画進行の最中にあえて新築されたという事になります。

まさか、最初から文化会館の一部になる事を想定して設計されたとは思えません。
たまたま使えたから良かったものの、そうでなければわずか数年で取り壊される運命にあったと思われます。

Re: 中央小学校で思い出しました 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 3月19日(火)18時14分1秒

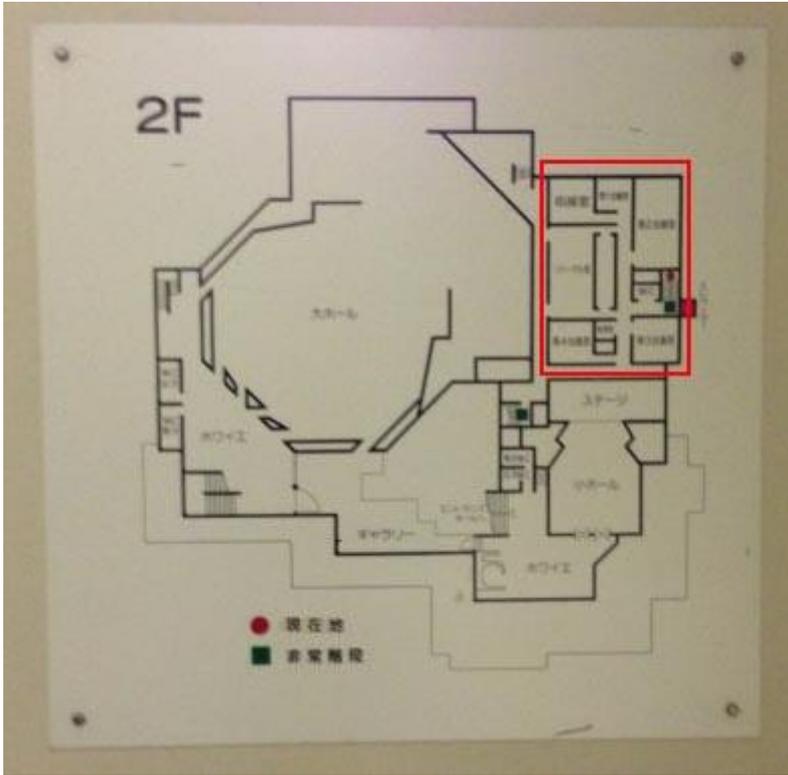
[返信・引用](#)

momongaさんへ

中央小学校利用の文化会館、近くなので今日見てきました。
この部分ですね。
中を調べましたが、確かに構造的に独立した建物ようです。
1974年の市街図を見ると文化会館建設の前年ですが、小学校とこの建物の両方があ

ります。
ただ、小学校としては小さすぎるので、新しい校舎を建設中に小学校の統合が決まった可能性もありますね。
中央小学校は昭和45年に閉校になっているので建設されたのはS43年かS44年でしょう。
デザイン的にはなんの違和感も無く溶け込んでいるので非常に上手い使い方だと思います。





中央小学校で思い出しました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 3月17日(日)21時52分55秒

[返信・引用](#)

今の市民文化会館ですが、
8条永隆橋通り側が、メインホールの建物に取って付けたような直方体構造になっています。
あそこは、内部はホールの楽屋・控室や事務所棟として使われていますが、
実は建物自体は旧中央小学校の校舎をそのまま利用しています。

文化会館も開館して既に40年近く経ちますが、
建設当時は中央小学校の一部、おそらくまだ使える新校舎棟だったんでしょうね。
外観のデザインも市役所本庁舎と揃えたレンガ調だったので、そのまま利用する事にしようです。

Re: ご無沙汰です。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 3月17日(日)20時33分6秒

[返信・引用](#)

IMAIさんへ

ひえ～～、クレーンに吊り上げられて写していた訳ですか～
おそろしそ～

いえ、私もけっして高所恐怖症ではないですが、最近は何故か高さに恐怖感を覚えます。
以前は平気で昇った屋根の上とか、ホテルやマンションの突き出したテラスの手摺寄りとか、
今までになく恐怖を感じるようになりました。

もしかして、これも年齢のせいかもしれませんよ（笑）

> |sxxさん

まあ、意図が全く不明なのでそのままにしていますが、無視してよろしいんじゃないですか？

Re: (無題) 投稿者: |sxx 投稿日: 2013年 3月16日(土)21時30分25秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No. 710\[元記事へ\]](#)

永江聡さんへ

> JR深名線の路線廃止

あなた色々なところで上記の何年も前から発言をしてますね。要求しているんでしょうか。それとも上記のことが決定したということでしょうか。平成24年12月にダイヤが改正され深名線路線バスは今日も元気に走っています。滅多な発言は控えて下さい。

深名線は幌加内町民にとっては名寄や深川に出かけるためには欠かせない路線です。

Re: ご無沙汰です。 投稿者: IMAI 投稿日: 2013年 3月15日(金)13時14分37秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

撮影は、クレーン車にゴンドラを付けて自分が乗り写してます。

当時は 余り恐怖心は有りませんでした

今は 恐ろしさを感じますね ^^

- > これまた、ずいぶんと高い、宙に浮いたアングルからの写真ですねー。
- > 最近でこそアドバルーンを使った空撮が珍しくないですが、30年前のこれもそうなんですか？
- > あの頃そんなもんあったのかな？
- >
- > いずれにしても、懐かしい永山の田園風景ですよ。

Re: 近文チカ子さん 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 3月14日(木)23時26分15秒

[返信・引用](#)

情報ありがとうございます。

Re: 地区とは？ 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 3月14日(木)23時17分7秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

私も今の町内会に入って班長・役員などを経験しておりますが、それだけでなく年々町内会の組織率が低下してる中、現在の地区市民委員会というのはほとんど意味を成してないと思います。唯一意味があるとすれば、かろうじて一部で古い地名・字名を名称に使ってけている事くらいかな。

小学校の名前を地区名にも使ったというのは当たった？

それは嬉しい限りです。

元々歴史の浅い地域で、しかもベースとなる地名がないとなれば、あとは人名か人為的な名称しかないですもんね。

それにしても、どんな形であれ、住民組織を政治活動に利用するというのは問題ですよ。

Re: ご無沙汰です。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2013年 3月14日(木)22時29分49秒

[返信・引用](#)

> [No. 713\[元記事へ\]](#)

IMAIさんへ

これまた、ずいぶん高い、宙に浮いたアングルからの写真ですねー。
最近でこそアドバルーンを使った空撮が珍しくないですが、30年前のこれもそうなんですか？
あの頃そんなもんあったのかな？

いずれにしても、懐かしい永山の田園風景ですよ。

(無題) 投稿者: [近文チカ子](#) 投稿日: 2013年 3月14日(木)16時25分15秒

[返信・引用](#)

近文第一尋常小学校 (現・近文第一小学校)
近文第二尋常高等小学校 (現・鷹栖小学校【鷹栖町】)
近文第三尋常高等小学校 (現・近文第二小学校)
近文第四尋常高等小学校 (現・北野小学校【鷹栖町】)
～
近文第十尋常小学校 (知遠別小学校【鷹栖町の奥地にあった学校】)

上は、鷹栖村系統の明治からの小学校。
近文小学校は、大正になって作られた新しい学校ですね。

Re: 地区とは？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 3月14日(木)12時39分14秒

[返信・引用](#)

> [No. 712\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

地区は町内会の連合会ですか。ありがとうございます。
> この組織形態自体は戦後になってからできたものらしいですが、
> その起源と言え、戦前の大政翼賛会・国民総動員的思想、いわゆる「隣組」に通ずるものとしてGHQ統治下では禁止されていたらしいですね。
momongaさんも知っている郷土史家に聞いたのですが、地区という組織が出来たのは五十嵐市長の時代だそうです。
なんでも、五十嵐市長の選挙活動と大きくかかわっているそうですよ。
地区というのはそれほど古いものではなかったんですね。
もっと歴史的なものかと思っていました(^_^;

> 私はこれ、小学校の命名と共に校区を地区名として使い始めたのではないかと想像します。

momongaさん、さすがです。
地区の名称も歴史的由緒から来ているのではなく、逆に小学校など古くから親しまれている名前を地区名に当てはめたのではないかとその事でした。

地区は新しいものですが、小学校は古いですよ。
近文小が第3まであったり、旭川小が第4が無くて第5まで東旭川のはずれの方にあったり面白いです。

ご無沙汰です。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2013年 3月 8日(金)20時36分59秒

[返信・引用](#)

自宅を整理していたら懐かしい写真が出て来ました。
18. 19才の頃、建設会社でバイトをしていました。

その時撮影した写真が.....

永山ウエスタンパーズ環状線カーブのところ
写真上側が豊岡方面です。

30年ですいぶん変わりましたネ (^o^)/



Re: 地区とは？ 投稿者:momonga✉ 投稿日:2013年 3月 8日(金)01時18分21秒

[返信・引用](#)

旭川には町内会の上部組織として地区市民委員会というのがあります。
ひっくり返して言うなら、市内を大きくいくつかの地区に分けてそれぞれに地区市民委員会があり、その下部組織として各町内会があるわけです。
つまり旭川で言う「地区」とは、市民委員会の設けられた単位であり、町内会連合を指します。

この組織形態自体は戦後になってからできたものらしいですが、
その起源と言え、戦前の大政翼賛会・国民総動員的思想、いわゆる「隣組」に通

ずるものとしてGHQ統治下では禁止されていたらしいですね。
旭川ではその後、町内会復活と共に連合町内会（地区市民委員会）も組織したよう
です。
これが旭川独自のものかどうかは分かりませんが、マチによって在る無いはあるか
もしれません。
あるいは呼び名が違っているのかもしれませんが。

ただ、各々の地区の名称由来については私も詳しい事は分かっていません。
千代田や愛宕や西御料地、高野や東光や緑が丘など、新旧・通名含め大半はその地
域の町名字名を使っていますが、
おっしゃる通り、「大成」という地名・住所は過去に存在したことがありませんよ
ね。
でいながら、この地区名はかなり古くから旭川市民に使われ続けている・・・

私はこれ、小学校の命名と共に校区を地区名として使い始めたのではないかと想像
します。
今の知新小学校の前身が、文化会館の場所にあった中央小学校と、イトーヨーカド
ーの場所にあった大成小学校。
さらに中央小学校の前身が明治期の忠別尋常小学校で、大成小学校の前身はその分
校。
これが大成小学校として独立したのが大正時代の事です。
いずれも地名とは関係ない新たな命名をされてると思いますので、逆にこれを機に
中央地区・大成地区と呼ぶようになったような気がします。
他にも「啓明」「朝日」といった、校名はあるが地名として存在しない地区があ
り、これらも同様ではないかと。

あくまで想像ですので詳しく調べてみないと分かりませんね。
間違っていたらごめんなさい。

地区とは？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 3月 7日(木)12時33分16秒

[返信・引用](#)

旭川には住所のほかに地区という呼び方がありますよね。
この地区という分けにはどんな歴史や経緯があるのでしょうか？
たとえば大成地区という場所がありますが、なんとなくは解かるものの正確な区割
りはよくわかりません。
そしてこの大成という名は住所にはありませんよね。
でも小学校の名前にはあります。
という事はこの地域は昔、大成と呼ばれていたのかな？
そして大成と呼ばれるようになった歴史があると思うのですよね。
同じようなことはすべての地区にいえることなのですが。
この地区という区分は地区センターとかいうように、町内会館に近いものですよ
ね。
住民の自治にも深くかかわっているように思います。
札幌なんかではこの地区という考えたかはありません。
町内会、自治会という組織はありますけど。
旭川の人口統計資料をみると、地区別というこうもくがあり、そこには14の地区が
書かれています。
でも町内会の状況という資料には地区名というのが64もの地区名になっています。
momongaさん、地区という考え方、地区名と旭川の歴史に関してなにかわかります
か？

(無題) 投稿者: [永江聡](#) 投稿日: 2013年 2月23日(土)13時19分31秒

[返信・引用](#)

JR深名線の路線バス廃止

[《前のページ](#)

[14](#)

[15](#)

[16](#)

[17](#)

[18](#)

[19](#)

[20](#)

[21](#)

[22](#)

[23](#)

[次のページ》](#)

以上は、新着順851番目から900番目までの記事です。

/ 32 [ページ移動](#)

新着順 投稿順 表示切替

【論・旭川】 HPへ戻る

管理者へメール

[RSS](#)

管理者メニュー

自分の投稿の編集

[teacup.レンタル掲示板](#)